

ひまわり

桶川市青少年健全育成市民会議

第 30 号

平成19年2月1日(年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習課

☎728-4111

e-mail:shogai@city.okegawa.lg.jp



楽しかったね。

9月27日(水)~30日(土) 合宿通学



9月24日(日)10月1日(日)
親子ふれあいウォーク

8月12日(土)・13日(日) サマーキャンプ

笑顔いっぱい。



5月5日(金) こどもとみどりのまつり

広報「ひまわり」
三十号発行にあたって

桶川市青少年健全育成市民会議 会長

桶川市長 岩崎 正男



市民の皆様
には青少年健
全育成のため
日頃からご理
解、ご協力を

いただいておりますことに深く
感謝申し上げます。

さて、このたび青少年健全育
成市民会議設立以来、その活動
を支えてきました「ひまわり」
が、平成二年の発行より十六年
をかけた三十号を数えることとな
りました。その活動は、青少年
健全育成を目的とした市民会議
の様々な報告をはじめ、青少年
を見守る多くの人々の活動が子
ども達の笑顔とともに綴られて
きました。

昨今、心痛む事件が世の中を
包んでいますが、この「ひまわ
り」が太陽のように青少年を温
かく見守り続けること、そして、
次の世代を担う青少年が、堂々
と胸を張り、明るい笑顔で前進
していくことを望んでやみません。
今後におきましても家庭・学
校・地域社会との連携を深め、
青少年の健全育成の推進に皆様
のご協力を賜りたくお願い申し
上げます。

最後に皆様方のご健勝をご祈
念いたしまして、挨拶とさせて
いただきます。

第十九回

桶川市青少年

健全育成市民大会を開催



平成十八年十一月十八日(土)桶川東公民館三階大ホールにおいて「第十九回桶川市青少年健全育成市民大会」が開催されました。

開会の言葉に続き、岩崎市長より会長挨拶、和久津市議会副議長、白石県議会議員、そして上尾警察署生活安全課岡谷課長補佐より御祝辞をいただきました。岡谷課長補佐からはとくに、上尾警察管内の現況の報告をデータにもとづき細やかに丁寧に説明してくださいました。

その後、大利根商工会青年部の石川茂樹様に『青少年と地域の活性化』と題して「童謡ユニット pinkish によるまちおこし」というテーマでご講演いただきました。



♪ささのはさらさら〜でおなじみの童謡『たなばた』や『花火』『電車ごっこ』を作曲された下総皖一氏のふるさと大利根町は「童謡のふるさと大利根」をキャッチフレーズにまちおこしに取り組んでいます。

地域に強くアピールしたいという思いで結成した歌姫四人グループ pinkish は今や人気上昇中という事で、この日は参加できませんでしたが、これまでの公演風景のビデオを紹介してくださいました。講演では、今に至るまでの産みの苦しみや運営の苦労話、メンバー交代後の難しさなど、いろいろと語っていただきました。「今どきの子どもは変わったと言われますが、pinkish のメンバーを見ていると、子ども自体の本質は変わっていないですね。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

市民会議表彰では、青少年の健全育成のために活動が続けて来られた方々に対して「青少年

育成功労賞」の表彰が行われました。また、子ども達が夏休みに取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールと「家庭の日」ポスターコンクール入賞者の表彰も行われました。表彰の後に作文コンクール優秀作品の朗読があり、ゴミ対策や環境問題、そして世界の子どもの達が置かれている貧しい境遇について思ったこと感じたことを素直に表現した作品に大きな拍手がおくられました。



コンクール表彰

講評

作文では四八二点の応募がありました。子ども達が書くという事を通じて対象に向き合い、言葉で表現することで自らを確認する。このコンクールを通して子ども達がこれからも、言葉で世界をとらえるという事を大事にしながら成長してほしいと願っています。ポスターでは五一九点の応募がありました。子ども達のこうあってほしいという家庭のあり方を考え、それを象徴的に表す具体的な場面を探しながら作品に取り組んだことでしょう。



「私たちの主張」作文コンクール入選者

優秀賞

「地球の緑を守りたい」

桶川南小学校六年 鈴木 祐美

「環境破壊について考えたこと、森林破壊より」

朝日小学校六年 宮内奈美穂

〔絆〕

加納中学校二年 栗原 成美

「命を大切にしよう」と

桶川東中学校三年 澤田 麻綾

佳作

「ひみつのいずみ」

日出谷小学校四年 永峰 若菜

「バレーボールと私」

日出谷小学校四年 原島明日香

「お母さんと同じ夢」

桶川西小学校六年 前島 玲奈

「私の家族自慢」

桶川中学校一年 中野ひかり

「小さな事だけど大切なこと」

桶川西中学校二年 百瀬 皓美

「私の街、桶川」

加納中学校三年 甘楽 美穂

青少年 育成功労賞表彰

青少年育成功労賞とは、青少年育成に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰し、その活動をもってさらに健全育成を図ることを目的としています。

青少年育成功労賞表彰者

桶川サッカースポーツ少年団

照屋 裕

桶川レッドサッカースポーツ少年団
川田谷ベアーズ
桶川柔道友好会
ボーイスカウト桶川団
桶川市子ども会育成連絡協議会

岸 典子
葛山 葉子
桶川中学校 P.T.A 上村 哲
桶川西中学校 P.T.A 進藤 浩子
桶川市人権擁護委員会 加藤 慶子
桶川地区更生保護女性会
竹内さく子

鴻巣地区保護司会桶川支部

荒井 克幸
(敬称略)

青少年育成国民会議より表彰

平成十八年十一月十一日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターにて青少年育成国民運動発足四十周年「中央記念大会」が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議設立当初より活躍されている辻本健次郎氏が、国民会議

より感謝状を贈呈されました。今回の表彰にあたり近況を語つ



ていただきました。

この度、青少年育成国民会議運動四十周年記念に受賞、身に余る光栄と存じます。これも皆様方のおかげと、ありがたく感謝いたしております。

振り返ると、桶川市青少年健全育成市民会議の発足当時の事が走馬灯のように思い出されます。当初は、各市町先進地への視察研修を行い色々と学び合い、今日の市民会議として発展してまいりました。また、五月五日のこどもまつりは、今では『こ



優 秀 賞



「夜空にさく花」
桶川北小学校五年 柳井 克斗



「幸せ家族」
朝日小学校五年 足立実綿子



「家族の輪」
桶川東中学校三年 千木良美穂



「いっしょにご飯」
加納中学校一年 田頭 駿



「家庭の日」ポスターコンクール入選者

佳作

「かぞくでダイビング」

桶川南小学校五年 雨宮 享輔

「家族で花火」

桶川東小学校五年 淡路菜津美

「家族団らん」

日出谷小学校六年 斎藤 誠敏

「家族と見た花火」

桶川東中学校一年 神戸絵里佳

「輪♡」

桶川中学校二年 瓜本 陽子

「笑顔で暮らそう」

桶川東中学校三年 吉田 有希

30号にゆめせて

記録より記憶に残る『ひまわり』発行によせる
編集委員の思いあれこれ…

北の大地 歓喜！

【北海道の球団として初めて日本シリーズを制覇】 広報『ひまわり』30回記念発行に向けて、「記録より記憶に残る」そんな稀代の「プリンス」日本ハムファイターズの新庄剛外野手について熱く語りたいたいと思います。今年4月18日のオリックス戦後のお立ち台での突然の引退表明は世間をあっと言わせました。

「札幌ドームを満員にしたい」そう夢を語った新庄選手は、持ち前の明るさとオリジナリテイで、数々の奇抜なパフォーマンスを披露し、今まで野球に興味のなかったおばあちゃんやお孫さんといったような老若男女を問わず様々な分野にもファン層を拡大させたこととはすばらしい功績です。

最終打席で見せた涙は、一緒にプレーした仲間と野球ができなくなるという思いが強く滲み出たものでした。



メジャーから帰国後「引退」の二文字は常に頭にあったといえます。慢性化した太もも裏の炎症、脇腹痛：満身創痍。

このようなプロ根性、プロ魂、仲間意識や思いやりといった美しい気持ちを青少年の皆さんにも常に持ち続けていただきたいと思えます。

子育ては楽しもう

「ひまわり」が創刊された頃私は母親になりたてでした。現在では四人の子どもに囲まれています。よく「大変でしょう」と言われます。

確かに子育てには、自分一人の

ためのお金や時間や楽しみを削って子どものために費やさなければならぬ側面もあります。

でも、この子たちのおかげで私はたくさんのお友達ができました。少々のことではへこたれない強さや、いつも物事を良い方向へ考えるクセも身に付きました。一人だった時にはおおよそやってみようとは思わなかったようなことに挑戦したり、逆に自分が子どもの頃好きだったことに再び親しむ機会があったりもします。何より同じように育てているのに四人四様の個性を見せて成長していく子どもたちを見る喜びがあります。

だから、私は答えます。
大変だけど楽しいよ！😊



子どもたちの未来にむけて

添加物にご注意

毎日の食事で子ども達、私達のは体はつくられています。

食生活が豊かになり、いつでもどこでも食べたいものが手に入る



便利さ、手軽さ、これも加工食品・食品添加物のおかげです。

幼稚園や小学校で食育のお話しをしています。その中でおかさのおにぎりよりコンビニのおにぎりのほうがおいしいよという子ども達の声を耳にします。化学調味料は子ども達の大好きな味です。しかしこの味を知ってしまったら、野菜や本来の天然のだし（昆布やかつおぶし）などの淡白な味をおいしいと思えなくなってしまう

日本です許可されている食品添加物は350種（世界一の使用量）と言われ、イギリス21種、ドイツ92種、フランス64種、アメリカ113種です。そして日本人が摂取する添加物の一日約10g、年間4kgも体内に入っています。

子ども達の味覚が壊れないよう、毎日の食事に日本古来の和食を心がけ、お菓子やインスタント食品、加工食品を利用する時は袋の裏側を見て、添加物の少ない方を選ぶことを心がけたいものです。



早寝は三文の得

十五年程前、子育て真最中の私にとつて、三人の子ども達が揃って寝てくれることは最高の喜びでした。いかにうまい具合に、夕食を済ませ、お風呂に入れ、ふとんの中にもぐりこませるかに気を使いました。添い寝をしながら両脇に並ぶ子ども達の顔を交互にのぞき込み、寝るのを待ちました。三人揃ってスースー寝息をたてれば、そつとふとんから抜け出し「しめしめ、今日も寝たぞ」とにんまりしたものでした。時には一緒に爆睡してしまうこともありましたが、なかなか寝てくれないとイライラすることもありません。「がまんがまん、ここであせっては全てが水の泡」と自分に言い聞かせました。こうして八時半から九時には子ども達から解放されるわけです。今ほどコンビニを初めとする深夜営業の店は、日常生活に浸透しておらず、誘惑が少なかったので、一概には言えませんが、早寝はたくさん良い事を運んでくれるように思います。早く寝れば早く起き、朝食もしっかり食べられます。早く寝かせるために、日中は戸外で疲れるまで思いっきり遊ばせました。体力がつき、足腰が鍛えられます。「早寝は三文の得といえるでしょう。」

心に届く言葉を

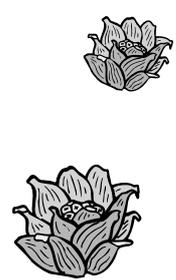


今日、青少年を取り巻く家庭、社会が、私が育った時代とは大きく変わりつつあります。情報が過密する中、受けなければ防げる現象が多々あります。例えば、若者の連鎖的に起る自殺です。いじめを苦に自殺する小、中学生のニュースが目に見え、衝撃的に飛び込んできます。もし、メディアがテレビ報道の競争が、今より自粛されたならば、尊い命が消えずにすんだのではないかという思いを強くします。いじめが苦ならば、学校へ行かないなど、次なる手段を興じ、親は我が子の様子を観察し、日々言葉少なくとも、声がけをして欲しいものです。心救われるメッセージが、親から愛しい子に、絶対に伝わることを願っています！

子どもが、すくすくと育つ10箇条

- 最近、新聞では、いじめ、不登校、自殺といった問題が起きています。また子ども達を取り巻く環境も核家族化が進み、祖父母を含めた家族団欒の機会が失われているのが現状です。
- 私は、子どもがすくすくと育つための10箇条を考えました。
- 一 朝のあいさつをする子に――。
 - 二 「ハイ」とはつきり返事のできる子に――。
 - 三 ハキモノを脱いだら、必ずそろえる子に――。
 - 四 食べ物欲張ってとらない子に――。
 - 五 相手の目を見て話す子に――。
 - 六 背すじをしっかりのばし、姿勢を正しくする子に――。
 - 七 だれであれ、仲間はずれをしない子に――。
 - 八 自分を大切にする子に――。
 - 九 前向きに生きて、人生を楽しむ子に――。
 - 十 小さなことでもよいから、他人のために尽くす子に――。
- 言うは易く、行うは難しいです。私は、子ども達が、この10箇条を実践し、ひまわりが太陽に向かい、元気に成長するがごとく、心豊かに、たくましく育つてくれることを心より、願っています。

30号によせし



えっ！もう30号ですか？早いですね、長いですね！

でも子ども達の健やかな成長を願うのは大人の永遠の願いですから、地域のこどもは地域で育てる、見守る、導く！ことはあたり前なことなのです。あたり前だからこそ、続けていくことなのです。地味でもコツコツと。

読んでくださってる皆さん。お子さんと会話してますか？もうお子さんが大きくなったからおっしゃるあなた、近所の子どもの顔と名前がわかりますか？見かけたらぜひ一声かけてあげてください！「おはよう」でも「いってらっしゃい」でも！「おかえりなさい」でも！親以外に近くに知り合いの大人がいるって子どもの世界がすくすく広がりますから。よろしくお祈りします。



親子ふれあい

ウォーク

今年も親子ふれあいウォークが加納地区と川田谷地区の二回にわけて実施されました。川田谷地区は十月一日(日)、曇ってはいましたが、さわやかな気候の中、行われました。「さんぽ」の歌さながらに、元気に歩くみんなの前にバツタやハチ、クモやミミズ、小さなへびまで現れ、歓声や悲鳴があがります。花や生き物の名前をお父さんやお母さんが教える姿、学校での出来事などの話を楽しそうに話す子ども達の姿が見られ、親子でゆったりと過ごす時間の楽し

さに、どの子の声もはずんでいました。

コースの中にはチェックポイントが設けられ、そこで桶川市の歴史にまつわる話を聞いたり、宝探し形式のクイズもあつたりして、八キロの道のりもあつという間でした。



非行防止 キャンペーン



十一月三日(金)。非行防止キャンペーンが行われました。この日は市民まつりで、中山道はとてにもぎわっていました。

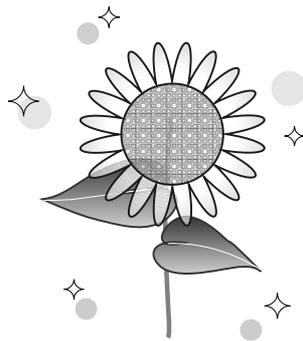
「青少年の健全育成にご協力を」の声とともに、リーフレット等を、そして、子ども達には「いい子になるんだよ」と風船を渡しました。

この活動が、みなさんの心に届き、子ども達に届くことを願っています。

「ひまわり」の命名

青少年がいつも太陽に向かい、明るい笑顔で明日を目指し、限りなく前進を続けるように……との願いがこめられています。

—第4号平成四年十二月十五日発行より—



「健全育成」のつどい

青少年健全育成市民会議とは、青少年の心身の健全な成長を図るため、市民及び、青少年関係機関・団体と協力し、健全な家庭・明るい社会環境の醸成に努め、広く青少年の健全育成を目的として活動を推進しています。

昭和六十三年十月に設立し、現在七十の構成団体で組織されています。

その他市民会議の事業

5月5日(金)

こどもとみどりのまつり

こどもとみどりのまつり非行防止キャンペーン

場所：城山公園

5月14日(日)

桶川市青少年健全育成市民会議総会・講演会

場所：桶川東公民館大ホール

講演会講師：神奈川大学・東京学芸大学講師

久田 邦明さん

テーマ「青少年を守り育てる地域の力」

7月1日(土) 非行防止街頭キャンペーン

場所：西口広場、桶川駅自由通路、駅東口

参加者：99人

7月15日(土)16日(日) 夏まつり巡回指導

場所：中山道周辺

参加：巡回指導員

編集後記

この広報ひまわり発行委員会会議に参加して、私は、もう一度、子育てについて考えさせられました。

子ども達には、生まれた時から、まっすぐに育ち、いい子になりたいという思いがあります。

私達大人は、その思いを見守り、成長させるための指針や灯を示していく必要があります。

その指針や灯となるように少しでも、広報ひまわりが役立つことを願って編集にあたりました。

特に、今回は30号記念号として、記録に残る文章より、記憶に残るひまわりにしよう。この文章を読んだ人が、勇気をもたらした。元気が出てきた。感動した等。前向きに思う気持ちを込めた。ああでもない。こうでもない。このところはこう直した方がわかりやすくてよい等。様々な意見をまとめて作りあげたものです。本紙ひまわりの題名の由来のように、青少年が、輝く太陽に向かって、明るい笑顔で、明日を目指して、限りなく前進することを願って編集しました。